

伸び率が鈍化する中国景気

ポイント① 輸出減に伴い生産は鈍化

6月16日に発表された5月の中国の鉱工業生産指数は前年同月比で+8.8%と、4月の同+9.8%から伸びが鈍化しました。昨年央から続いている人民元高や輸出拠点である広東省での新型コロナウイルスの感染拡大によって、輸出が鈍化した影響が出ています。6月7日に発表された5月の中国貿易統計によれば、輸入（米ドル建て）は商品価格高騰を背景に前年同月比+51.1%と、2011年1月以来の大幅な伸びとなった一方で、輸出（米ドル建て）は前年同月比+27.9%となり、伸び率が4月の同+32.3%を下回りました。

ポイント② 底上げが期待される個人消費

16日に発表された個人消費の動向を示す小売売上高も前年同月比で+12.4%となり、4月の同+17.7%ならびに、事前の市場予想を下回る水準となりました。5月はメーデーの5連休があり、個人消費の活性化につながる事が期待されていましたが、力強さを欠く結果となりました。持続的な景気回復のためには、個人消費の底上げが必要とされるなか、6月18日に最終日を迎える618オンラインセール（中国最大のECセールのひとつ）の売上などに期待が集まります。

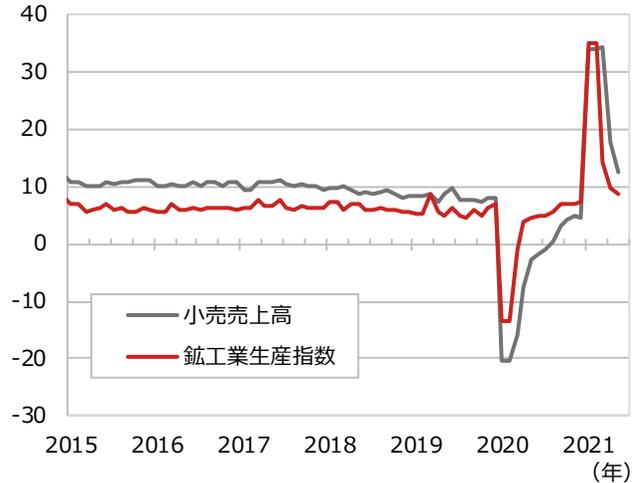
ポイント③ 政府、中銀の動向に注意が必要

中国では、水準は依然として高いものの、成長率鈍化の兆候が見られます。また、新疆ウイグル自治区や台湾問題などを巡り、米欧との対立が深まるなど、不透明要因も増えています。このような状況下での人民元高による輸出への悪影響は避けたいところであり、中国人民銀行（中央銀行）の政策にも注意を払う必要があります。

図1：中国の鉱工業生産指数と小売売上高

期間：2015年1月～2021年5月、月次

(前年同月比、%)

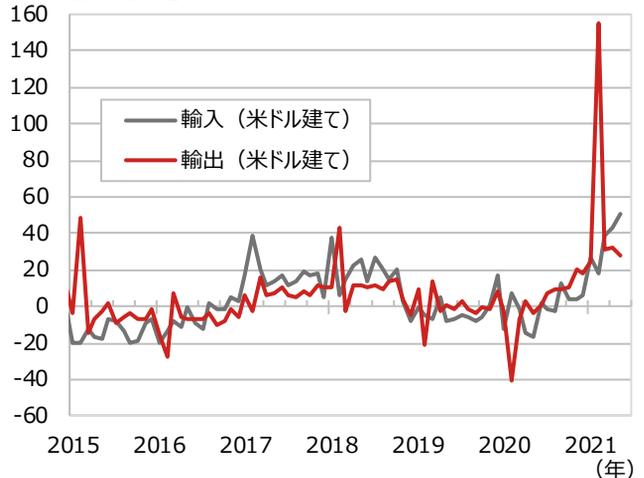


(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

図2：中国の輸出・輸入

期間：2015年1月～2021年5月、月次

(前年同月比、%)



(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

重要イベント

6月30日	中国製造業/非製造業PMI（購買担当者景気指数、6月）
7月15日	中国GDP（国内総生産、4-6月期）、鉱工業生産指数、小売売上高（6月）

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。